

平成25年度 小木小学校

図書だより

H25. 12. 9

人権週間に関わる読み聞かせ

12月4日から10日は、人権週間です。小木小学校では、「自分の大切さと共に、他の人の大切さを認めることよさに気づくことができる」をねらいとして、人権週間の取り組みをしています。全学級で『わたしの いもうと』の読み聞かせをし、感想を書きます。その中から各学級で3つほど感想を選び、給食の時間に校内放送で紹介する予定です。

放送する予定にしている低学年の感想の一部を紹介します。



★ちょっとこわかったです。いじめられたのが、かわいそうでした。さいごのてがみの「いっしょにあそびたかったのに」のところがなきそうでした。
(1年 坂 蓮)

★女の子のいもうとが、小学校でいじめられていたのでつらそうでした。つるをいっぱいおったのですごかったです。あと、さいごにしってしまったのがかわいそうでした。
(1年 坂下 紗奈)

★いもうとがさいごにしってしまったので、かわいそうでした。どうして、いじめがあったのかなと思いました。わたしたちのクラスもいじめがなければいいなと思いました。いじめをした人は、わるいとおもいました。
(2年 南山 智香)

★わたしは、生きていたいです。そのわけは、生きていなかったら何もできないし、あそぶこともできないからです。わたしは、きょう本を読んで「やっぱり人を大切にすることは大切だな。」と思いました。こらからも人をいじめないで大切にしていきたいと思います。
(2年 和嶋 奈々子)

★この本を読んで、おどろくくらい妹がかわいそうでした。わたしは、もしかして妹は、心の病気なのかなと思いました。お母さんにすこなくなぐさめられたのに、いやな思い出をわすれられなかったのがとてもかわいそうでした。
(3年 二又 涼乃)

★いもうとは、つらかったんだと思いました。さびしかったんだと思いました。いもうとは、いっしょに学校に通って、学んで楽しくみんなと遊びたかったんだと思いました。悲しいお話でした。
(3年 西谷内 瑛士)